

## 第 64 回クラシックを楽しむ会

2019 年 4 月 21 日 (日) 18:00～ (2 時間 40 分、休憩除く)

タイトル：歌劇「魔笛」(モーツァルト)

会場等：バイエルン国立歌劇場 1983 年公演  
ドイツ、バイエルン州ミュンヘン

管弦楽：バイエルン国立歌劇場管弦楽団、  
バイエルン国立歌劇場合唱団

指揮：ヴォルフガング・サヴァリッシュ

演出：アウグスト・エファーディング

出演：エディタ・グルベローヴァ (夜の女王)

フランシスコ・アライサ (タミーノ)

ルチア・ポップ (パミーナ)

クルト・モル (ザラストロ)

ヴォルフガング・ブレンデル (パパゲーノ)

グドルン・ジーベル (パパゲーナ)

その他



第 1 幕、ベートーベンが愛したパミーナとパパゲーノの二重唱の場面

### 歌劇「魔笛」あらすじ

大蛇に追われた王子タミーノは夜の女王に仕える侍女たちに救われる。夜の女王の娘パミーナの美しい絵姿に魅せられたタミーノ。夜の女王は彼に悪者ザラストロに囚われている娘パミーナの救出を依頼。彼は鳥刺しパパゲーノと救出に向かう。ザラストロの神殿に行きタミーノとパミーナはザラストロが悪者ではなく実は高德の僧だと知る。タミーノとパパゲーノ、そしてパミーナもザラストロが課す試練に挑み見事克服。愛し合うタミーノとパミーナは祝福され、パパゲーノもパパゲーナという伴侶を得る。夜の女王は敗退しザラストロは太陽が夜に打ち勝ったと宣言する。

### みどころ聴きどころ

主要登場人物の夜の女王とザラストロ、タミーノとパミーナ、パパゲーノとパパゲーナの三つのペア、三人の侍女、三人の童子、それぞれすばらしい名曲の数々。

特に有名なアリアは「私は鳥刺し」、「何という美しい絵姿」、「夜の女王のアリア」(第 1 幕と第 2 幕)、「この聖なる殿堂には」だが、序曲の他、二重唱、三重唱、合唱など素晴らしい曲があふれている。

ベートーヴェンが作曲した「魔笛の主題による 7 つの変奏曲」(「恋を知る男たちは」と「魔笛の主題による 12 の変奏曲」(「可愛い娘か女房がいれば」)はいずれもチェロの名曲。ソル作曲の「魔笛の主題による変奏曲」はパパゲーノの鳴らす魔法の鈴の音に悪者モノスタトス達が踊らされる短い曲が原曲でクラシックギターの名曲。

### 第 65 回クラシックを楽しむ会(予告)

タイトル：歌劇「アルジェのイタリア女」(ロッシーニ)

5 月 21 日(日) 17 時 30 分開場、18 時上映開始

2018 年 8 月モーツァルト劇場(オーストリア)での公演。5 つのグラミー賞を受賞しているチェチーリア・バルトリがイザベッラ役。聴いてみればおなじみの愉快的な曲? 気楽に楽しめます。

5 月以降、ザルツブルク音楽祭 2018 年 8 月の歌劇「スペードの女王」、ベルリン国立歌劇場 2018 年 6 月公演の歌劇「マクベス」、ミラノ・スカラ座 2018/19 開幕公演の歌劇「アッティラ」などを予定。

# あらすじ

## 【時と場所】

時代不詳のエジプト。

## 【登場人物と歌】

### 夜の女王 (S): 闇の世界を支配するヒステリックな女王

夫が生前に友人ザラストロに渡した「全てを焼き尽くす太陽の世界」をザラストロから取り返すため、ザラストロを殺すよう娘のパミーナに強要する。娘を奪われた母親の悲しみを歌う第1幕のアリア「**恐れずに、若者よ!**」と、怒りと復讐を訴える第2幕のアリア「**復讐の炎は地獄のように我が心に燃え**」はコロラトゥーラの超絶技巧を必要とする名曲。

### タミーノ (T): 異国の王子

大蛇に追われて失神。パミーナの絵姿を見せられて一目ぼれ。アリア「**なんという美しい絵姿**」を歌う。

### パミーナ (S): 「夜の女王」の娘

ザラストロに囚われ運命に翻弄される薄幸の美少女。モノスタトスに付きまとわれても、愛していた実の母親に「ザラストロを殺さなければ親子の縁を切る」と脅迫されても負けない強さをもつ。

第1幕で男と女の気高い愛をパパゲーノと歌う二重唱「**恋を知る男たちは**」、第2幕でタミーノに裏切られたと誤解し女性の深い愛情と悲しみを歌うアリア「**愛の喜びは露と消え**」は名曲。

### ザラストロ (B): 叡智と理性を重んじ全世界の平和に尽くす高德の僧

寛容な優しさを低音で朗々と歌う、合唱付きアリア「**イシス、オリシスの神よ、願わくば**」叡知と忍耐を与え、とアリア「**この聖なる殿堂には**」復讐を思う人はいない、は感動的。バスの声域より更に低い音域が必要。

### パパゲーノ (Br): 愉快的な自然児

鳥を捕まえ「夜の女王」の城に献上して日々の生計を立てている。臆病者で口は軽く今この瞬間だけを大切に、食う寝る遊ぶ、女性への興味も津々。

第1幕の葦笛を吹きながら愉快地歌うアリア「**私は鳥刺し**」、第2幕のグロッケンシュピールの響きに先導されて歌う「**可愛い娘か女房がいれば**」はいずれも有名。

### パパゲーナ (S): 老婆の恰好で現れその後美しい若い娘に変身

有名なパパゲーノとの二重唱「**パ、パ、パ**」は恋人を得て幸福感に満ちた鳥のさえずりのよう。

### モノスタトス (T): ムーア人

人格者ザラストロの下、自分勝手に乱暴な中悪党。パミーナに言い寄る。

パパゲーノの鳴らす魔法の鈴（グロッケンシュピール）の音にうかれて踊らされる短い場面は愉快。

### 三人の侍女 (S) (MS) (A): 「夜の女王」に仕える凄腕の侍女

三人で大蛇を倒し、気絶している美しい王子タミーノに見惚れて言い争う。

三重唱「**私が見張りに残るから、あなたたち二人でお城に報告に行きなさいよ**」。

### 三人の童子 (S) (MS) (A) : 王子をザラストロの城に導く

ザラストロが課す試練に耐えかね苦しんでいるタミーノとパパゲーノをやさしく励ます。

三重唱「**お二人ともよく来ましたね**」はまさに天使の歌声。

## 【第1幕】森の奥の岩山

大蛇に追われたタミーノは夜の女王に仕える侍女たちに救われる。パミーナの美しい絵姿に魅せられたタミーノ。夜の女王は彼に悪者ザラストロに囚われている娘パミーナの救出を依頼。彼は鳥刺しパパゲーノと救出に向かう。ザラストロの神殿でタミーノとパミーナはザラストロが悪者ではなく実は高德の僧で、心のけがれた夜の女王からパミーナを保護しているのだと知る。

## 【第2幕】椰子の茂る森の中、大広間、神殿の地下、火の山の深山など。最後は太陽の世界

タミーノとパパゲーノ、そしてパミーナもザラストロが課す試練に挑み見事克服。愛し合うタミーノとパミーナは祝福され、パパゲーノもパパゲーナという伴侶を得る。夜の女王は敗退しザラストロは太陽が夜に打ち勝ったと宣言する。

## 出演者

**エディタ・グルベローヴァ** (1946-) はスロバキア・ブラチスラヴァ生まれ。圧倒的な美声と驚異的な技巧を兼備したコロラトゥーラ・ソプラノ歌手で、ベルカントでは 20 世紀を代表する歌手の一人。ルチア・ポップは同郷の先輩。

**フランシスコ・アライサ** (1950-) はメキシコ生まれのテノール歌手。ウィーン国立歌劇場の「宮廷歌手」になるなど世界の歌劇場で大活躍。モーツァルトとロッシーニの名解釈者。

**ルチア・ポップ** (1939 - 1993) スロバキア出身のオペラ歌手。1963 年にブラチスラヴァ歌劇場でオットー・クレンペラー指揮「魔笛」の夜の女王役でデビュー後、ウィーン国立歌劇場と契約。20 世紀を代表するドイツ・オペラ、リート歌手だったが若くして癌で死去。

**クルト・モル** (1938 - 2017) は、ドイツ・ケルン近郊出身の世界的バス歌手。指揮者のサヴァリッシュとはデビュー当時から親友。

**ヴォルフガング・ブレンデル** (1947-) はバイエルン国立歌劇場の宮廷歌手の称号を最年少で授与されたバリトン歌手。

**グドルン・ジーベル** はドイツのソプラノ歌手。ベルリン・ドイツ・オペラ合唱団員だった。

**ヴォルフガング・サヴァリッシュ** (1923 - 2013) はドイツ、バイエルン州ミュンヘン生まれの指揮者・ピアニスト。公演当時はバイエルン国立歌劇場音楽監督。NHK 交響楽団の桂冠名誉指揮者など日本でもなじみ深い 20 世紀を代表する巨匠の一人。

**アウグスト・エファージング** (1928 - 1999) はドイツのオペラ演出家、監督。バイエルン国立歌劇場の総裁を務めた。この「魔笛」は 1979 年がプレミエ。ユルゲン・ローゼの装置&衣裳と共に、美しい舞台はバイエルン国立歌劇場で長く愛された。



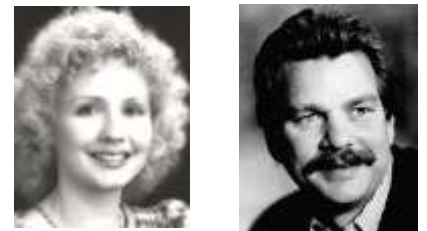
グルベローバ

モル



ポップ

アライサ



ジーベル

ブレンデル



サヴァリッシュ

エファージング

## 歌劇「魔笛」誕生の経緯と初演

1791 年、ウィーン郊外ヴィーデン劇場のシカネーダーが生活に困窮していたモーツァルトに「魔笛」の作曲を依頼。台本はシカネーダー。初演はシカネーダー自身がパパゲーノ役などシカネーダー一座の関係者が出演。「夜の女王」役はモーツァルトの義姉ヨゼーファ\*、そして指揮はモーツァルト。

\*モーツァルトの妻コンスタンツェは 4 人姉妹の 3 女。長女がヨゼーファ、次女アロイジアはモーツァルトが恋して振られた。3 人ともソプラノ歌手。

### エマヌエル・シカネーダー (1751-1812)

旅回りのシカネーダー一座の座長として、自ら台本を書き、俳優、歌手、演出家を兼任し、オーストリア、ドイツで活躍した。ウィーンの劇場支配人になり、1801 年には皇帝の認可を受けて建設したアン・デア・ウィーン劇場を開館させた。

### ヴォルフガング・アマデウス・モーツァルト (1756-1791)

1791 年の 7 月に四男が誕生、妻のコンスタンツェはバーデンで療養中、そして多額の借金を抱えた中で「魔笛」の作曲を続けた。初演の 2 日前に完成、9 月 30 日に「魔笛」を初演し 2 カ月後の 12 月 5 日に 35 歳で病死した。

初演後の 10 月 14 日、バーデンのコンスタンツェに現存する最後の手紙を送りサリエリ夫妻を招待したことを知らせている。サリエリは「これこそオペラだ。最大の祝祭で、最高の王侯君主を前に上演されて恥ずかしくないものだ」と。そしてサリエリが感嘆の言葉を吐かなかった曲はなかったと。



「鳥刺し」扮装のシカネーダー